

令和6年10月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和6年10月28日（月）午後2時00分開会
午後3時20分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第37号から議案第39号
日程第7 協議及び報告事項 協議第5号
報告第29号から報告第30号
日程第8 その他

○会議に出席した委員（5名）

1番	鹿嶽昌功	2番	大野裕己
3番	中野文雄	4番	三木尚美
5番	ルーベッシュ裕子		

○説明のため出席した者（10名）

学校教育部長	浅野晋司	学校教育部担当部長	外岡明文
教育総務課長	井上尚博	学校再編課長	上野樹
教育総務課担当課長	久保修一	学校教育課長	田中仁朗
教育支援課長	市原敦	教育研修所長	出藏裕昭
学校給食課長	小東敏郎	幼児教育振興課長	藤田崇宏

○代表学校長（2名）

中学校校長会代表	藤井許善（代理）
小学校校長会代表	松下修

○会議に関係した事務局員（2名）

教育総務課 石野寛人
清家梨奈子

○会議録署名委員

教 育 長 鹿 嶽 昌 功

教 育 委 員 中 野 文 雄

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和6年10月第311回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

なお、本日の議案第37号「令和6年度一般会計12月補正教育予算案に関する原案の決定について」と、議案第38号「三田市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定に関する原案の決定について」は未確定の情報等を含んでいるため、また、本日追加提案させていただきました議案第39号「職員の分限処分について」は特定の個人情報を含んでいるため非公開とし、全ての議事、協議及び報告等が終了した後に審議したいと考えますが、いかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、議案第37号、議案第38号、議案第39号は非公開とすることといたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

(令和6年9月26日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。
会議録署名委員は、3番 中野文雄 委員にお願いします。

日程第4 会期の決定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和6年10月28日月曜日午後2時00分開会
といたします。

日程第5 教育長の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

すっかり秋も深まり、朝夕寒くなってきました。熱中症の心配はなくなりましたが、インフルエンザや新型コロナなど、感染症対策に気を留めなければならない季節となってきました。現在、委員の皆さんには秋の学校訪問をお世話になっているところですが、小中学校では、音楽会や文化祭の真っ最中です。お時間があれば子どもたちのがんばりを見ていただきたいと思います。それでは、前回の定例会以降の私の活動について報告させていただきます。

1) やよい幼稚園川田理事長藍綬褒章受章記念祝賀会 (9/28)

9月28日土曜日、やよい幼稚園の学校法人三田川田学園の川田理事長が、教育振興に貢献されたことが評価され、今年の春の叙勲で藍綬褒章を受章されました。受章記念祝賀会が神戸のホテルオークラで開催され、来賓としてお招きいただきました。三田市のニュータウン開発に伴う幼児教育については、公立幼稚園ではなく、すべて私立幼稚園に担っていており、3万人都市が11万人都市に発展する過程では、友が丘にあります松が丘幼稚園以外、すべて私立幼稚園にお願いをし、北摂三田ニュータウン及びつつじが丘あわせて10園の私立幼稚園が開設されました。フラワータウンの弥生が丘ではやよい幼稚園が開園され、川田理事長には長い間、三田市私立幼稚園連合会の会長として、三田における私立幼稚園の就学前教育の振興と公立幼稚園との連携にご尽力いただきました。大阪市でも同様に幼児教育・保育の振興にも努められており、この功績により受章されたものです。

現在、三田市は少子化の進行により、最も多かった就学前児童数に比べ半分まで減少しています。私立幼稚園としての経営にもご苦労されていると思いますが、今後も市行政と連携して子どもたちの育成に共に取り組んでまいりたいと思っています。この度の受章は大変喜ばしい事と思っています。

2) 令和7年度予算編成方針説明会(10/15)

10月15日に、三田市の新年度予算編成の説明会が市役所本庁舎でありました。三田市の財政状況は厳しい状況ですが、「子どもを核としたまちづくり」を進めるため「子ども施策の再体系化」を図り、子どもを主語とした施策を中心に据えて、すべての施策にメリハリをつける予算とするということでした。

私の理解では、当然ながら子ども施策の精査をしなければなりません。すべての市民を対象とした総括的な予算ではなく、今必要な子ども施策を中心に展開するために、それ以外の施策を大胆に見直すものだと思います。子どもは就学前の児童だけではなく、小中学生も当然子どもです。また、主語は「子どもの保護者」ではなく「子ども自身」でなければならない。子どもたち自身に直接影響する施策を充実させることにより、三田の子どもたちが「三田で教育を受けてよかった、楽しい学校生活だった」と実感してくれて、「こんな素晴らしい教育を自分の子にも受けさせたい」と将来思ってもらえるような、子どもたちの心に残る施策を今展開していく必要があると強く感じています。これが将来の三田の発展、持続可能なまちにつながると信じています。教育委員会としては、このような想いで新年度予算編成に臨みたいと思っています。

3) 阪神7市1町教育長協議会(10/16)

10月16日に、本年度1回目の阪神7市1町の教育長が集まる協議会が宝塚市役所で開催されました。

1点目の議題は教員不足対策としての特別免許状の活用について、2点目は不登校生徒の学力等の評価、3点目はメタバース等による学びの多様化の3点でした。1点目の教員免許は持っていないが精通した技能や知識を持った人に与える特別免許で子どもたちの指導にあたってもらう制度ですが、各市とも学級担任や生徒指導、進路指導となると難しいとのことでした。

2点目の不登校児童生徒の学力等の評価については、「本来

学校での学習でも探究的な学びが出来ているのか」「新たな観点に基づく評価が適正にできているのか」という課題もあることを踏まえて、不登校児童生徒については、それぞれの子どもが持つ知識や技能、また日々の生活など学校外での学びに対して、学校が十分連携する必要はあるが、あまりにも多様な子どもがいるため、学校長の判断では基準の整理はなかなか難しいとのことでした。

3点目の仮想空間での多様な学びについては、各市とも検討されている、また、検討しようとしているところです。不登校等対象となる児童生徒が限られていること、市町によってそれほど状況に違いはなく、阪神7市1町共同で開発運用ができないか、もっと広げて兵庫県としてそのような仮想空間での学びの場、コミュニケーションの場が作れないのか等、問題提起を共有したうえで今後考えていくことになりました。次回は、西宮市が当番ですが、2回目は新年度予算が固まる前に阪神間で情報共有する場を設ける予定とのことでした。

4) 三田市議会初会合(10/17)

臨時市議会(10/23・24)

10月17日に今回の市議会議員選挙により議員となりました22人の皆さんの初会合があり、市の部長以上も出席し自己紹介をしました。今回は22人中8人が新しい議員として活動されます。学校行事等にもご参加いただくこともあらうと思っておりますので、連携していきたいと思っています。

10月23日には臨時市議会が招集され、24日までの2日間の会期中で、新しい議長、副議長、常任委員会委員等の役員改選と、今回の衆議院議員と兵庫県知事の両選挙執行のための補正予算の専決処分の承認がありました。役員改選については、すでに報道もありましたとおり、議長に福田秀章議員、副議長に肥後議員、教育委員会の施策の協議をいただく福祉教育常任委員には、大西雅子議員、佐貫議員、假屋議員、山崎議員、福本議員、水元議員、肥後議員の7名が決まり、7名中4名が女性議員となります。委員長は大西議員、副委員長は佐貫議員です。これからの1年間の体制となります。

5) 上野台中学校創立50周年記念式典(10/25)

10月25日、上野台中学校が今年で創立50周年を迎え、中学校の文化祭の日にあわせた記念式典に参加しました。地

域と一体となって様々な催しなど大変充実した式典でした。私の住む地域の中学校であり、私が高校1年生の時に開校した学校です。私自身も保護者として関わった学校でもあります。上野台中学校は、八景中学校との再編統合に取り組んでおり、新設校建設のための用地の確保を鋭意進めています。現在の在校生はもちろん、これから入学する子どもたちも、すぐには新設校とはなりません、いずれは新設校に再編されることとなります。上野台中学校の伝統を新しい学校に引き継いでいってほしいと願いを込めて、皆さんの将来に向けての活躍を祈念してまいりました。

以上5点です。現在、学校では音楽会や文化祭での合唱が行われています。来月5日火曜日には各中学校の代表による音楽会が、8日金曜日には各小学校4年生の連合音楽会がそれぞれ郷の音ホールで開催されます。委員の皆さんもご都合がつけばぜひ聴きにきていただければと思っております。私からの報告は以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

本日の議事につきましては冒頭でお伝えしましたとおり非公開となりますので、後ほど審議いたします。

日程第7 協議及び報告事項

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして協議及び報告事項に移ります。
協議第5号「三田市旅館業立地審査会にかかる委員の選出について」事務局より説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

協議第5号「三田市旅館業立地審査会にかかる委員の選出について」事務局より説明
《事務局提案：中野委員を推薦》

○教育長
(鹿嶽 昌功)

事務局からの提案内容について、教育委員の皆さま、中野委員いかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長

(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。

それでは中野委員よろしく申し上げます。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

続きまして、報告第29号「令和7年度公立認定こども園・幼稚園の園児数見込について」事務局より説明をお願いします。

○幼児教育振興課長(藤田 崇宏)

報告第29号「令和7年度公立認定こども園・幼稚園の園児数見込について」事務局より説明

○教育長

(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育委員

(中野 文雄)

新しくみつば幼稚園とありまふじ幼稚園が開園することによってどのような効果が見られますか。

○幼児教育振興課長(藤田 崇宏)

再編の目的である「同年齢の望ましい集団規模数」としては、一定の園児数を確保できていると思います。また、農村地域の保護者の保育ニーズにも応えられたのではないかと思います。

○教育委員

(中野 文雄)

市内の私立幼稚園や認定こども園との関係性について何か課題等は出ていますか。

○幼児教育振興課長(藤田 崇宏)

私立幼稚園の園長会等で報告させていただいた際に、通園バスを走らせていることから、ニュータウンの1号認定の子どもが公立に流れるのではないかと懸念されていましたが、通園バスの乗車対象ではありません。また、今回ご報告しました園児数見込みについて、ありまふじ幼稚園の園区外2名については、公立の松が丘幼稚園区の子どもです。私立幼稚園との関係性については、再編はあくまでも農村地域

の公立幼稚園を集約したものとしてご理解いただいております。

○教育委員
(中野 文雄)

これまで同様、公立幼稚園でも私立幼稚園でも幼稚園教育の質はきちんと連携してそろえていかなければいけないと思います。新しい園が開園したことで、就学前の幼児教育をこれまで以上に良い方向に進めていけるよう考えておくべきだと思います。

○教育委員
(大野 裕己)

再編による多様な保育ニーズへの対応についても順調に進んでいると思います。再編統合以前は、幼稚園と小学校が併設的で幼小連携が進んでおり効果も認められているところと思いますが、統合となると条件的に難しくなる面も出てくると思います。これまで努力いただいた幼小連携について今後も可能な範囲で継続いただけたらと思います。

○教育委員
(三木 尚美)

一定の集団規模を確保するため再編へ努力いただいた結果が良い方向に進んでくれたらいいと思います。園区外からも近い方が希望して来られるようですが、セーフティーネットとして希望されている方はおられますか。また、教員不足と言われている中で先生方の確保はできそうですか。

○幼児教育振興課長
(藤田 崇宏)

現状、正規職員25名と会計年度任用職員25名で運営していますが人員配置には苦慮しております。募集を行っても幼稚園教諭の応募は少なく、人員確保については今後も課題であると捉えています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

セーフティーネット等の支援が必要な園児に対しては公立幼稚園の果たす役割が非常に高くなると思いますが、そこについての傾向はどうなっていますか。

○幼児教育振興課長
(藤田 崇宏)

アレルギー対応が必要な子どもや、特別な支援が必要な子ども、家庭児童相談室との連携が必要な子どもなど支援内容は多岐にわたって行っています。特別な支援を必要とする子ども

もの就園については、教育支援課と相談しながら12月の検討委員会等を行い、支援体制を整えて受け入れをしていく予定です。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。
他にご質問等ございますか。なければこのように報告します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、報告第30号「11月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

報告第30号「11月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように進めてまいりますので、11月もよろしくをお願いします。

日程第8 その他 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、11月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

11月教育委員会定例会の開催日時は令和6年11月27日(水)午後2時00分から、南分館601会議室で予定しております。よろしくをお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、各代表校長からの報告です。

○中学校校長代表
代理(藤井 許善)

10月に入り気候もようやく秋らしくなり、学習や部活動に適した季節になりました。10月の初めには秋の長雨のため、体育大会を2日から4日間の延期をせざるを得ない学校

もありましたが、どの学校の生徒もしっかり準備をして体育大会当日は精一杯取り組みました。夏の総体で3年生が引退して以降、1・2年生が活動の中心の新チームとなり、運動部は初の公式戦となる三田市新人大会が9月末に、丹有地区新人大会が今月中旬に行われました。引退した先輩や家族、友人の熱く心強い応援を受けながら懸命に競技に励みました。各学校から県大会にも出場します。今月末から12月下旬まで、種目ごとに日程が違いますが、三田市そして丹有の代表として、正々堂々と競技に臨んでくれることと期待しています。また、23日には総体種目の一つである「駅伝競走」の丹有大会が開催され熱戦を繰り広げました。多くの3年生が夏で引退する中、長距離走を専門にする3年生の生徒を中心にチームが生まれ、勉強との両立を図りながら競技に励みました。6位以内の学校に県大会出場権が与えられるのですが、三田市の中学校は、男子2校、女子は3校が入賞を果たし大健闘しました。11月16日に奥神鍋で開催される県大会に出場することをご報告いたします。文化部においては、文化祭での発表に向けて熱心に取り組みました。すでに6校が文化祭を終え、今週は2校が開催予定です。3年生にとっては中学校生活最後の発表の場となるため、思いを込めて作品作りに励みました。なかでも吹奏楽部は、文化祭で演奏する曲だけにとどまらず、定期演奏会や地域の祭りで披露した曲など、様々な楽曲の練習に寸暇を惜しまず取り組みました。聴衆の心に届く素晴らしい演奏を聞かせてくれました。また、文化祭といえば合唱です。どの学校も取り組み期間中午後になると合唱練習などに取り組み、校舎のあちらこちらから美しいハーモニーと大きな歌声が響いていました。当日も、緊張感を持ちながらステージの上で自分たちの思いを届けようと堂々と歌う姿に感動させられました。そして、5日には三田市音楽会が開かれ、学校代表の学級が素晴らしい合唱を披露します。また、翌6日には丹有音楽会にも各校の代表が出場します。生徒たちはこれらの音楽会に出場できることを心待ちにしています。

文化祭が終わりますと、3年生の進路決定の時期が目前に迫ってきます。生徒ひとりひとりの将来の夢を叶えるための進路実現に向けて、全職員、全力で取り組んでいきたいと考えています。今後ともご指導ご支援をよろしく願いいたします。

○小学校校長代表
(松下 修)

○2学期学行事について

小学校では、先週の土曜日に音楽会を終えた学校、今週の音楽会へ向けて練習に励んでいる学校もあります。来月8日には、郷の音ホールにて連合音楽会を実施する予定です。子どもにとって大ホールのステージに立つことは、これまでにないよき経験となることと考えております。また、図工や書写の作品づくりも、作品展に向けて着実に進めています。芸術の秋にふさわしく、子どもたちが意欲的に取り組んでいる様子があり、ほほえましく思います。

11月は、参観日、児童会行事や保幼小連携行事が予定されている学校もあります。特に、小中が一貫した教育を進めていく一つの手立てとして、小中学校間で協議しながら、本年度の全国学力・学習状況調査分析報告書の作成をしております。その作成項目の中には、中学校区での合同分析の項目があり、この項目があることにより小中が話し合う時間が持っています。また小学校・特別支援学校においては、これまで取り組んできた研究や研修の成果を発表する会が、11月には4つの小学校で、1月、2月には5つの小学校と特別支援学校で開催されます。また、積極的に授業公開を行う学校もあります。互いに学び合う場として参加していきたいと考えております。

○小学校長会より

小学校長会においては、役員2名が10月24日、25日に、徳島県で開催された全国連合小学校長会研究協議会に参加してきました。その会において、文部科学省審議官が講話をされ、次期学習指導要領の改訂に向けた動きがすでに始まっていること、令和7年度から本格的にはじまること、次期学習指導要領には、令和3年1月に出された「令和の日本型学校教育」の考えが引きつがれることの説明がありました。来年度以降、新学習指導要領の方向性に注視していくことも必要になると考えております。校長会でも、その方向性や働き方改革の視点から、校長会主催行事や学校行事についても他市町の情報を集め、あり方についても協議し、よりよい教育活動ができるよう研修に努めていきたいと考えております。

最後に朝夕寒くなり、秋の深まりを感じるようになりました。マイコプラズマによる感染症の広がりの心配は続いておりますが、感染症対策を含め、健康管理に十分気をつけながら、残りの2学期を充実させていきたいと思っております。今後と

○教育長
(鹿嶽 昌功)

もご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。
それでは引き続き非公開議案についての審議に入ります。ここからは事務局関係者以外のご退室をお願いいたします。

《事務局関係者以外退室》

《非公開審議》

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは以上をもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。